

第一部

- 「被災者の生活再建のために」小田実震災報告（ニュース映像上映）
- ガレキのなから生まれた「市民=議員立法」（スライド上映）
- 阪神・淡路大震災と小田実文学について語る
『深い音』 富澤祥郎（新潮社編集者）
『「アポジ」を踏む』 宮田勉栄（文筆家）

—あれから14年—

1.17『人間の国』へ。

今こそ語る阪神・淡路大震災と「市民=議員立法」

日時：2009年1月17日(土)14:30開場 15:00開演 18:30終了

会場：カトリック麹町聖イグナチオ教会ヨセフホール四谷駅下車1分 上智大学手前

主催：小田実文学と市民運動を語り考える会／メルキゼデクの会（イグナチオ教会）

問い合わせ：コミュニティレストラン木々（鈴木） Tel/Fax 042-425-6800



- ## 第二部 「被災者生活再建支援法」と「市民=議員立法」の今日的意義
- 小田実と「希望」 高草木 光一（慶応義塾大学教授）
 - リレートーク『人間の国』をめざして「小さな人間」と議員たち
 - 『難死の思想』より 玄 順恵（小田実 人生の同行者）
 - 5時56分 黙祷—すべての被災者のために